WAVLINK
see the world

取扱説明書

# USB3.0 対応セルフコピー機能付き HDD/SSD スタンド

www.wavlink.com/en_us/WL-ST342U

QRコードをスキャンするか、リンクをロードして、
クイックスタートガイドとドライバーをダウンロードしましょう!

WAVLINK (@WavlinkOfficial)
WAVLINK SUPPORT (@WavlinkTechSupport)
日本語担当(supportjp@wavlink.com)

**WL-ST342U**

セット内容

1 x 本体(2×HDDDockingStation)
1 x 専用DC電源アダプタ（PSE認証済み）
1 x 専用USB3.0ケーブル（1.0m）
1 x 取扱説明書・保証書(本書)

※デザイン及び仕様、本取扱書の内容は予告なしに変更する場合があります。



## はじめに

この度は、WAVLINK社製セルフコピー機能付きHDD/SSDスタンド(ST342U)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

## 特長

- 最大10TBのHDD・SSDに対応
- UASP加速転送プロトコルに対応
- ボタン一つでHDDやSSDをセルフコピーが可能(A to BのCLONE作成)
- PSE認証された専用DC電源アダプタを使用
- USB3.0（USB2.0/1.0の下位交換）
  UASP( USB Attached SCSI Protocol)に対応パソコン側のUSB3.0ホストインターフェイスに接続した場合は最大約5Gbpsの転送速度を実現します。USB2.0以下ホストにも接 続できますが、その場合の転送速度の上限は従来のUSB2.0規格(最大約480Mbps)になります。
- 接続するパソコンは、Windows/MAC OS/Linuxに対応
- SATA3.0対応（SATA2.0/1.0の下位交換）
  HDD/SSD接続端子は(7+15)PinのSATAコネクタで、高速SATA3規格に対応しています。
- 2.5または3.5インチのHDD/SSDに対応
  スロットには、2.5 インチ版・3.5 インチ版のHDD・SSDが、どの組み合わせであっても2 台同時に取り付け可能です。



## 製品仕様

- パソコン接続用USB端子（USB3.0/2.0/1.0対応）
  1mのUSB3.0対応ケーブル付属
- HDD/SSD接続用SATA端子7+15Pin（SATA3.0/2.0/1.0対応）
- 専用DC電源アダプタ付属　12V±5% / 3A（センタープラス）
- 本体寸法　162×112×61.5mm
- HDD A からHDD B へのセルフコピーができるCLONEボタン

## 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

**警告:下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。**

- 分解、改造はしないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
- 水などの液体に濡らさないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
- 動作中、HDD/SSDには絶対に触れないでください。(感電、故障の恐れがあります)安全のために、本製品を子供が触れるところに置かないでください。
- 小さな子供のそばでは本製品の取外しなどの作業をしないでください。(飲み込んだりする危険性があります)
- 専用DC電源アダプタ以外の電源アダプタを使用しないでください(火災、故障の恐れがあります)



**注意:下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

- スロットへの挿入・脱却時には電源がOFFになっているか専用DC電源アダプタのケーブルが抜けていることを確認してから行ってください。(電源onの状態でHDD/SSDの抜き差しを行うと、データが消失・破損または機器の故障の原因となります)
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)
- 次のようなところで使用しないでください。
  ①直接日光の当たる場所
  ②湿気や水分のある場所
  ③傾斜のある不安定な場所
  ④静電気の発生しやすい場所
  ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 専用のDC電源アダプタ以外接続しないでください。
  (事故の原因となる可能性があります)

**その他取扱い上のご注意**

- 本製品の優れた機能を実現するために、本製品をご パソコンのUSB3.0ポートと接続してください。(USB2.0に対応しますが、USB3.0のほうがお勧めします。)
- 長期間使用しない場合は、安全及び節電のため、本製品の電源をoffにして専用DC電源アダプタのプラグをコンセントから抜いて保管してください。

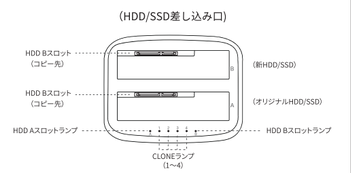


- 本製品の優れた機能を実現するために、本製品をご パソコンのUSB3.0ポートと接続してください。(USB2.0に対応しますが、USB3.0のほうがお勧めします。)
- 長期間使用しない場合は、安全及び節電のため、本製品の電源をoffにして専用DC電源アダプタのプラグをコンセントから抜いて保管してください。

**お手入れについて**

- 清掃する時は電源を必ずお切りください。
- 機器は柔らかい布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください

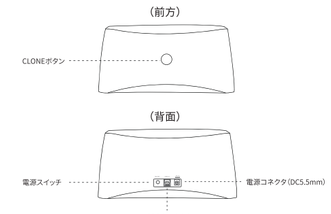
## 各部名称と働き






① HDD Aスロット(コピー元)
セルフコピー機能を使ったCLONE作成時にコピー元のHDD(SSD)を取付けます。または、PCに接続するHDD・SSDの1台目を取付けます。

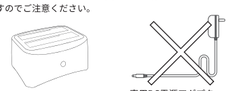
② HDD Bスロット(コピー先)
セルフコピー機能を使ったCLONE作成時にコピー先のHDD(SSD)を取付けます。または、PCに接続するHDD・SSDの2台目を取付けます。



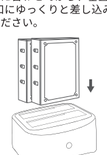



## パソコンと接続する

**ステップ0　電源が入っていないことを確認する**
専用DC電源アダプタを抜いてください。
(注)電源が入ったままHDD/SSDの抜き差しを行うとHDD/SSDが壊れますのでご注意ください。

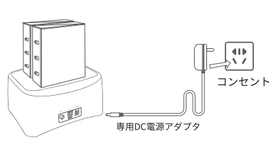



**ステップ1　HDD/SSDの取り付け**
HDDのコネクタ部分を下に向け、本体のSATAコネクタ部分と向きが一致するように合わせてから、垂直に立てた状態のままHDD/SSD差し込み口にゆっくりと差し込み、止まるまでしっかりと差し込んでください。





**ステップ2　ACアダプタ(電源アダプタ)の接続**
専用DC電源アダプタを接続し、本体の電源スイッチを「on」にして電源を入れてください。



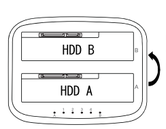

**ステップ3　USBケーブルの取り付け**
USBケーブルを使ってお使いのパソコンとの接続を行ってください。

**ステップ4　パソコンで外付けハードディスクとして使用する**
- 電源スイッチを押して通電すると、パソコンが自動的に本製品を認識して使用する準備が完了します。
- 本製品が正常に認識されて使用準備ができている場合は、HDD Aランプ及びHDD Bランプが点灯しています。CLONEランプ点滅状態となります。
- 本製品に装着したHDD/SSDが、パソコンで使用可能な外付けハードディスク(リムーバルディスク)となります

## HDDのクローンを作成する

**セルフコピー機能を使ってHDDのCLONEを作成する**
**使用前の確認**
- 本製品のセルフコピー機能は、HDD A(コピー元)からHDD B(コピー先)のみです。オリジナルのHDDは、必ず「HDD Aスロット」に挿入してください。
  HDD A(コピー元 コピーしたいデータが入っているオリジナルのディスク)
  HDD B(コピー先 これからデータがコピーされるディスク)

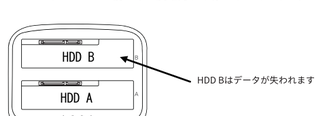





(コピー先) ・・・・データがコピーされるディスク
(新しいHDDまたは内容が不要なHDD)

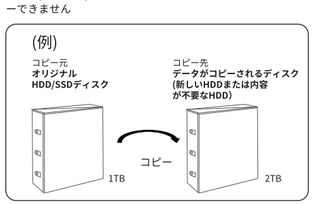
(コピー元) ・・・・オリジナルHDD/SSDディスク

- セルフコピー機能を使用すると、HDD B(コピー先)は初期化されデータが失われてしまいますので、重要なデータが入っていないかコピー前に今一度確認する様にしてください。






- セルフコピー機能を使用する際には、HDD B(コピー先)は、HDD A(コピー元)と容量が同じものかそれ以上の容量を持ったディスクを選択してください。
  HDD A(コピー元)より小さな容量のディスクには正しくコピーできません




- コピー先のディスクが破損していると正常にコピーできません。コピー先のディスク(HDD B)が中古品であるなどの理由で、セクタの一部が破損している可能性がある場合にはコピーが失敗してしまいますので、なるべく新品をご利用ください。

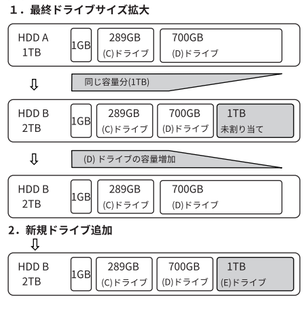
使用済みディスクを使用された場合には、コピー後にパソコンでディスクの確認等を行い、コピーが完了したことを確認するまでコピー元のオリジナルディスクを保管し、データを削除したりフォーマットしたりしないでください。



- セルフコピー完了後のHDD Bは、HDD Aと全く同じパーティションと未割り当て分が混在した構造となっています。HDD Bの全ての容量を使用する場合には、パソコンのパーティション管理ソフト等により、最後のパーティションの容量を増やすか、新たな新規ドライブとしてフォーマットすることで使用することができます。

(例)

**1．最終ドライブサイズ拡大**




**2．新規ドライブ追加**

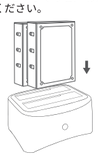





## セルフコピーを行う

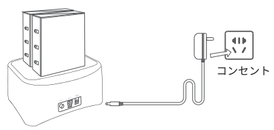
(ステップ0～ステップ2は「パソコンと接続する」と同じ)
**ステップ0　電源が入っていないことを確認する**
専用DC電源アダプタを抜いてください。
(注) 電源が入ったままHDD/SSDの抜き差しを行うとHDD/SSDが壊れますのでご注意ください。

**ステップ1　HDD/SSDの取り付け**
HDDのコネクタ部分を下に向け、本体のSATAコネクタ部分と向きが一致するように合わせてから、垂直に立てた状態のままHDD/SSD差し込み口にゆっくりと差し込み、止まるまでしっかりと差し込んでください。



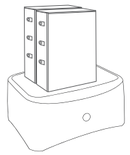


**ステップ2　専用DC電源アダプタの接続**
専用DC電源アダプタを接続し、本体の電源スイッチを「on」にして電源を入れてください。

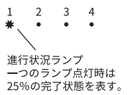



**ステップ3　セルフコピーの開始**
パソコンと未接続状態でも、CLONEボタンを押すだけでHDD/SSDのセルフコピーを行うことができます。
CLONEボタンを約3秒間長押しして、その後すぐCLONEボタンを1回押してください(３秒以上過ぎると点滅が消えますので、3秒間長押しからやり直してください)。
その後、ディスクコピーが開始されます。本製品の1・2・3・4という四つランプ点灯の状況を通し、進行状況がわかります。(一つのランプが点灯したら、25%が完成したと意味しています。)

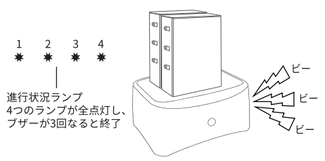




CLONEボタン
3秒長押しで点滅し、
もう一度押してスタート




**ステップ4　セルフコピーの終了**
セルフコピーが完了すると、1・2・3・4という四つランプが点灯しています。それを加えて「ビー」と３回響きます。






**メモ**

セルフコピー完了後、本体とパソコンをUSBケーブルで接続すると自動的にHDD A及びHDD Bがそれぞれパソコンのリムーバブルディスクとして接続します。

本製品とパソコンを接続している時も、CLONEボタンを押すことでセルフコピーを行うことができます。
セルフコピー中はディスクとパソコンは切断状態となりますが、セルフコピーが完了すると自動的にHDD A及びHDD Bがそれぞれパソコンに接続します。

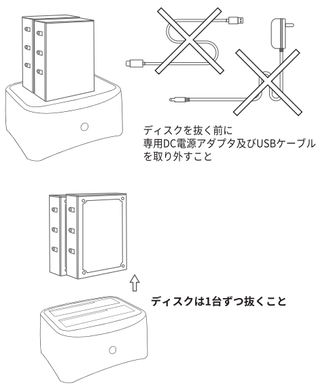
**ステップ5　セルフコピー完了後のHDD/SSD取り外し手順**
(以下、Windows10パソコンでの操作を記載します)

① コンピューターでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしてください。
② 本製品の電源スイッチを「off」にしてください。
③ USBケーブルと専用DC電源アダプタのケーブルを外してください。
④ 本体からHDD/SSDディスクを1台ずつ取り外してください。

**注意**

ディスクの損害または事故の発生を防止するため、電源スイッチを「off」にして専用DC電源アダプタを外すまでは、決してHDD/SSDを接続したり取り外したりしないでください。

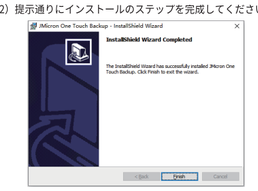





## 簡単バックアップ

**ダウンロードについて**
-WAVLINKのホームページ「www.wavlink.com」で「JM_OTB」というドライバをダウンロードしてください。（Supports→Driver→STStorageに適応なドライバをダウンロードしてください。）
-パソコン側でそのドライバをインストールしてください。
1）まずは「setup.exe」をダブルクリックしてインストールしてください。

2）提示通りにインストールのステップを完成してください。






**ご使用について**
デスクトップの「JM_OTB」をダブルクリックして開いてください。
まず、「Setting」ページに入り、「LanguageType」で「日本語」をご選択ください。




その後、「ファイルバックアップ」ページでバックアップを行いましょう。






**1、バックアップについて**
（1）「USBデバイス」でご ディスクが表示されます。ご使用したいディスク（バックアップ先）をご選択ください。
（2）「加える」をクリックして、ご バックアップしたいフォルダーを選んでください。（バックアップしたくなくなるフォルダーが「削除」できます。）
（3）バックアップをクリックしてからバックアップを行います。
（バックアップの時、プログレスバーが表示されています。）




（4）バックアップしたデータはディスクの「Backup」というフォルダの中にあります。



**2．データ復元について**
「JM_OTB」で「ファイルバックアップ」ページでフォルダー復元を行いましょう。
（1）まずはご復元したいフォルダーがあるディスクをご選択ください。その後、右側でご復元したいフォルダーを選んでください。




（2）次に、「復元する」をクリックして復元をスタートします。その後、転送情報とステータスプログレスバーが確認できます。復元されたフォルダーはパソコンで の元の位置に戻ります。




公式ウェブサイト:www.wavlink.com
技術サポート:supportjp@wavlink.com